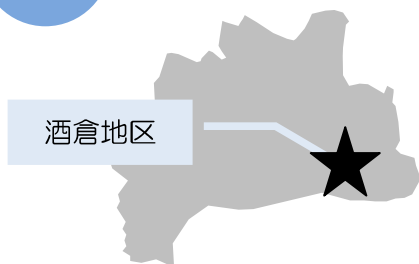


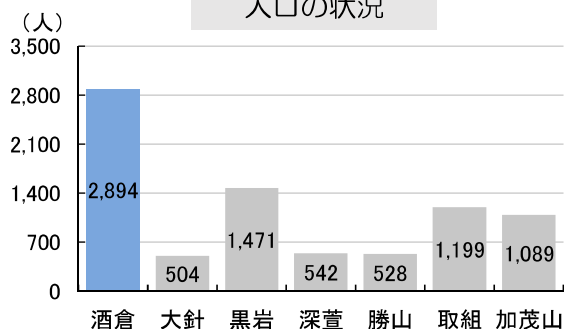
地区別計画

酒倉地区



酒倉地区

人口の状況



資料：住民基本台帳（2015年10月末）

地区の概況

- ★一色・池端・中組・雲埋北・雲埋南・茶屋の6自治会が活動しています。
- ★ロマンチック街道・火塚古墳・坂祝神社・大まや湊など歴史や観光資源が豊富です。
- ★自動車関連産業が立地し、地区と協力したイベントを実施しています。

課題の把握

前回の評価

前回計画の施策	できたこと	課題
①地域ぐるみの清掃活動の活性化・住みやすい環境づくり	・シニアクラブやボランティア等による清掃活動の実施	・活動自体の周知 ・活動者の固定化 ・自治会間での検討の未実施
②まちづくり活動・地域活動の活性化	・防災活動、支え合い団体等での活動 ・災害等に対する話し合い ・自治会役員の合同会議の実施	・合同会議の内容の情報共有 ・活動内容の周知 ・ふれあいサロンや支え合い団体、シニアクラブ等の連携
③高齢者の交流や健康づくりの促進	・支え合い団体による活動 ・ふれあいサロン、東部盆踊りの開催	・高齢者のニーズ把握 ・身体が不自由な人へのイベント等での配慮 ・イベントへの参加促進 ・イベント開催の負担軽減

新たな課題

- ・住民や多世代間での交流促進
- ・自治会の加入促進、自治会のあり方の見直し
- ・防災・防犯対策の実施

今後特に注力すべき課題

- ①イベント等の地域活動の見直し・活性化
- ②自治会内の各活動の連携・交流促進
- ③住みよい環境づくり活動の拡充

酒倉地区の今後の方向性

取り組み 1

イベント等の地域活動の見直し・活性化

住民が取り組むこと

- ・ 東部盆踊り大会を継続して実施する。
- ・ 多世代が交流できる行事を検討する。



行政に期待する支援

- ・ イベントに係る備品等の貸し出し（貸し出し可能な備品リストの提供）

取り組み 2

自治会内の各活動の連携・交流促進

住民が取り組むこと

- ・ 総合計画、地区別計画の周知及び活動に対する参加の呼びかけを行う。
- ・ 自治会活動の活動報告チラシを作成・配布し、情報を共有する。
- ・ 自治会未加入者への加入の呼びかけや PR を行う。
- ・ 各種団体との交流行事を計画・実施する。



行政に期待する支援

- ・ 転入者への自治会加入の啓発
- ・ 他自治会や各種団体の活動内容等の情報提供

取り組み 3

住みよい環境づくり活動の拡充

住民が取り組むこと

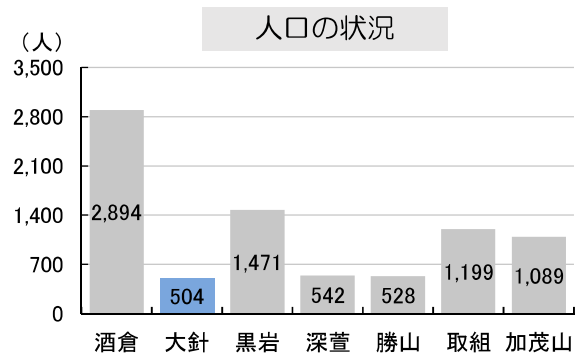
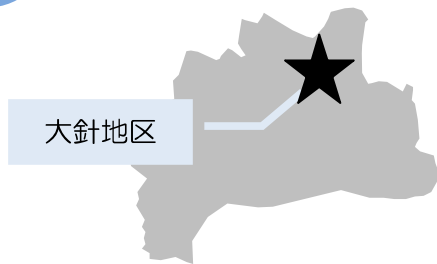
- ・ ロマンチック街道や各地域の清掃活動へ積極的に参加する。
- ・ 避難行動要支援者の災害時の避難方法を検討する。（避難行動要支援者マップ見直し）
- ・ 水害及び地震発生時の行動マニュアル・地震防災マップを作成する。
- ・ 防犯上の危険箇所について話し合い、対策を検討したうえでみんなで見守りを行う。



行政に期待する支援

- ・ 災害発生時の行動マニュアル・地震防災マップの作成に係る情報提供
- ・ 防災訓練時の実施計画案等の提供
- ・ 街路灯の増設、防犯カメラの設置

大針地区



資料：住民基本台帳（2015年10月末）

地区の概況

- ★国道21号バイパスの開通により人の出入りが多くなっており、商業施設等の立地が見込まれます。
- ★田園風景が広がるなか、耕作放棄地も目立っています。

課題の把握

前回の評価

前回計画の施策	できたこと	課題
①交通安全対策の推進	- 子どもへの見守り活動 - 小学校活動としての危険箇所の洗い出しと改善	- スピード超過などの危険な運転の取締り - 安全面が未整備な道路 - 国道21号バイパス開通による交通事情の変化への対応
②環境美化活動の活性化	- 自治会長による収集所の見回り - ごみ回収後の収集所の衛生監視員による清掃	- 無記名でのごみ出しが多い - 地区外からのごみの持ち込みへの対応
③日常的な地域のつながりづくり	- ふるさと保全隊、アシスト会、シニアクラブ等の活動 - 班懇親会や祭事などでの親睦	- 地区懇談会への参加促進 - 老人会への若い住民の加入促進 - コミュニケーション不足

新たな課題

- ・自治会活動への女性の参加
- ・災害への対応（ハザードマップ等の見直し）
- ・若手消防団員の参加協力
- ・国道21号バイパス開通に向けた対応

今後特に注力すべき課題

- ①人が集える環境づくり
- ②交通環境の変化に対応した防犯・交通安全対策
- ③健康づくりの推進

大針地区の今後の方向性

取り組み 1

人が集える環境づくり

住民が取り組むこと

- ・年間を通じて住民が集まれる場をつくる。（整地、草刈り、木陰づくりなど）
- ・地域の大人と子どもと一緒に活動できる場として、一斉清掃時に体験活動等を企画する。（ちびっこ広場のベンチづくり、シニアクラブ等による夏休みのラジオ体操、山の講どんどづくりなど）
- ・自治会活動への女性の参加を推進する。
- ・地震防災マップや避難行動要支援者マップを見直す。
- ・地域の支え合い体制を構築する。



行政に期待する支援

- ・資材等の提供や助成

取り組み 2

交通環境の変化に対応した防犯・交通安全対策

住民が取り組むこと

- ・国道 248 号、21 号バイパス開通に伴う交通事情の変化を把握する。
- ・通学路を含め、歩行者等の危険箇所を調査し、地区内で共有する。
- ・スピード超過運転に対する注意喚起を行う。（看板の設置などを検討）
- ・防犯灯を新規で設置すべき場所や更新・撤去場所を確認する。
- ・夜間散歩時に安全タスキの装着や懐中電灯を持参する。
- ・防犯対策のため、児童・生徒の通学路等を中心に街路灯の整備を検討する。



行政に期待する支援

- ・酒倉・黒岩線及び町道大針 3 号線（2 間道路）の歩道設置、街路灯の設置

取り組み 3

健康づくりの推進

住民が取り組むこと

- ・お散歩コースのルートを示したマップを作成し、地域へ配布する。
- ・町民ミニバレー、町民運動会に積極的な参加を呼びかける。
- ・ソフトバレーボールなど大針でチームをつくり、練習や大会に参加する。
- ・子どもと行う活動として、ペタンクなどのサークルづくりを推進する。



行政に期待する支援

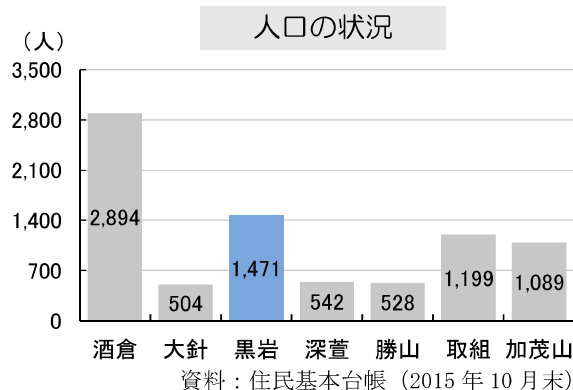
- | | |
|----------|------------|
| ・北館の建設整備 | ・遊歩道の整備 |
| ・街路灯の設置 | ・マップの印刷・製本 |

黒岩地区



地区の概況

- ★町のシンボリックな存在である郷部山丘陵があり、優れた自然環境を有しています。
- ★中央公民館や町民ふれあいプール、総合福祉会館サンライフさかほぎなどの公共施設が集まっています。
- ★中日本自動車短期大学が立地し、地域との交流が行われています。
- ★国道 248 号バイパスの整備により交通量の増加が見込まれます。



課題の把握

前回の評価

前回計画の施策	できたこと	課題
①地域コミュニティの活性化	・班編成の見直しについての検討 ・公民館開放を月 1 回実施	・班、組織での検討結果の反映（組織の細分化など） ・自治会員の話し合いの機会が不足
②バイパス開通など交通量増加の影響への対策	・コンビニエンスストアがあった場所の横断歩道の改善	・バイパス開通に伴う交通量増大に備えた交通整備の見直し（脇道等の一方通行化など） ・道路の拡張や信号機の設定
③子どもが健やかに育つ環境づくり	・多くのボランティアによる子ども登下校の見守り活動	・世代を超えて集まる機会の不足 ・バイパスの工事現場付近が子どもに危険

新たな課題

- ・バイパス開通による転入者の増加への対応
- ・災害時等の助け合い活動の検討
- ・ごみ収集所の分散化
- ・少人数組織での地区活動の推進

今後特に注力すべき課題

①多世代がつながる活動の推進

黒岩地区の今後の方向性

取り組み 1

多世代がつながる活動の推進

住民が取り組むこと

- ・自治会の班のあり方を見直し、活動しやすく小回りがきく組織にする。
- ・子ども会、シニアクラブ、支え合い団体、自治会などの各団体を中心とし、イベント等に誰もが参加できるしくみを検討する。（すべての世代がつながる企画等）
- ・自治会未加入者への加入の呼びかけやPRを行う。
- ・国道 248 号、21 号バイパス開通に伴う交通事情の変化を踏まえ、危険箇所などを把握・共有する。
- ・消防団の活動に参加する。
- ・地震防災マップ、避難行動要支援者マップの見直しを行う。
- ・防犯対策のため、学生の通学路等を中心に街路灯の整備を検討する。



行政に期待する支援

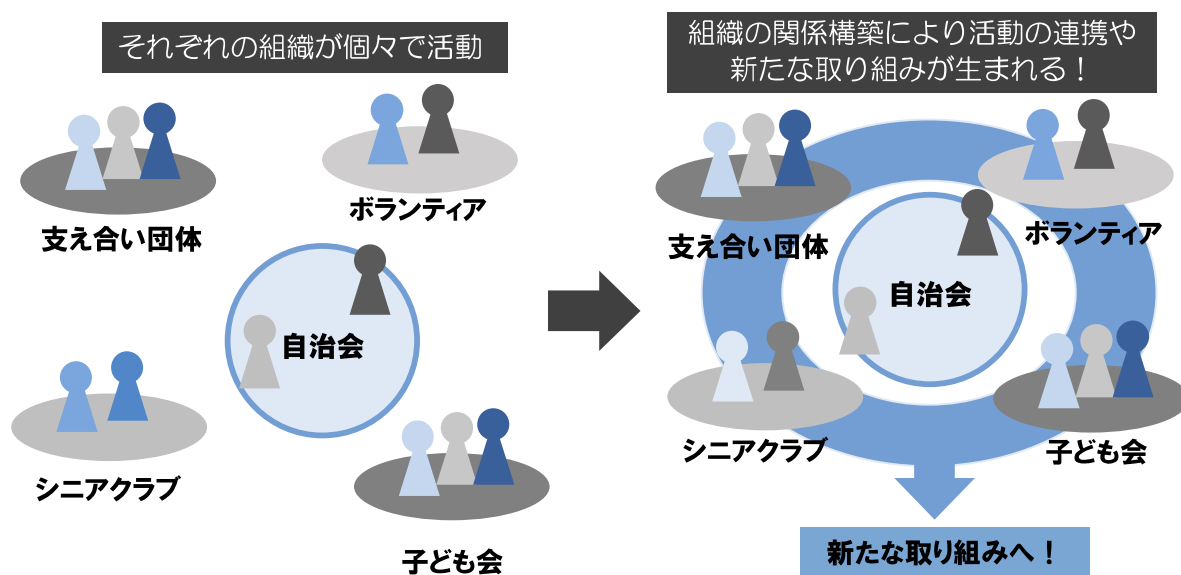
- ・歩道の整備、街路灯の設置
- ・転入者への自治会加入の啓発
- ・他自治会や各種団体の活動内容等の情報提供

地域の取り組みにより期待されること

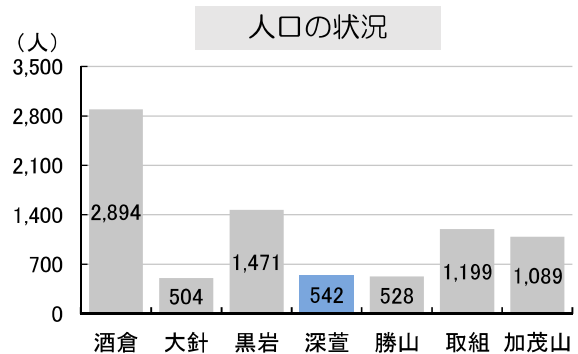
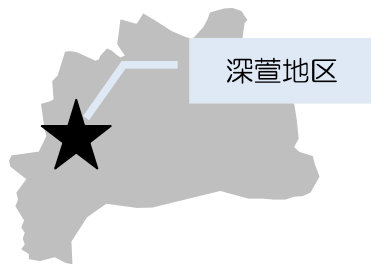
今まで関わりがなかった人や組織との関係が構築されることで、災害発生時の近所間での助け合いや子ども・高齢者などの見守り、自治会員の増加が期待できます。

また、行事などへの参加意欲の向上などにもつながります。

■取り組みのイメージ図



深萱地区



資料：住民基本台帳（2015年10月末）

地区の概況

- ★「ため池百選」に選ばれた八幡池があります。
- ★十二社神社の農村舞台では毎年、伝承文化である子踊りが披露されています。
- ★森林が広がっており、優れた自然環境が保全されています。

課題の把握

前回の評価

前回計画の施策	できたこと	課題
①地域における安全・安心を守る活動の活性化	・自警団の設立 ・消防団の協力による定期的な防災訓練等の実施 ・子どもや高齢者等への見守り活動	・一部の住民だけが活動し、活動の実態が住民全体に浸透不足 ・避難行動要支援者台帳の見直し、活用についての検討
②豊かな自然を守る活動の活性化（美しい里山づくり）	・自治会、保全隊等による計画的な花いっぱい運動、里山清掃などの実施 ・鳥獣害対策として伐採の実施	・活動者が固定化、負担の偏り ・活動に対する組織づくり ・鳥獣害対策のための現状把握、対策の実施体制の検討
③深萱地区におけるまちづくり活動の活性化	・各種イベントやふれあいサロンでの活動の継続的な実施 ・参加者同士のつながりづくり	・イベント等の参加者の固定化 ・新たな参加者を増やすための理解促進 ・活動の長期的な計画や工夫が必要

新たな課題

- ・班の再編成
- ・若い世代への定住支援
- ・耕作放棄地対策
- ・防災・防犯対策

今後特に注力すべき課題

- ①防災・減災（いざという時、命を守る）
- ②避難行動要支援者の見守り
- ③耕作放棄地の活用（農地を守る）
- ④世代間交流（コミュニティの形成）の促進

深萱地区の今後の方向性

取り組み 1 防災・減災(いざという時、命を守る)

住民が取り組むこと

- ・自警団が災害時に機能するため、日頃から活躍の場を設け、訓練等を支援する。
- ・各家庭にある井戸を災害時に飲料水として活用できるよう、水質調査等を行う。
- ・消防詰所、自主避難所となる公民館の建て替えを検討する。



行政に期待する支援

- ・水質調査等への助成
- ・消防操法大会の住民への周知、盛り上げ
- ・消防詰所、自主避難所となる公民館の建て替え時の助成

取り組み 2 避難行動要支援者の見守り

住民が取り組むこと

- ・増加している避難行動要支援者に対し、民生委員・児童委員の見守り活動を助けるため、自治会やがやがや会等を見守り補助員として配置することを検討する。
- ・自治会等で避難行動要支援者情報を共有し、住民全体で見守りをする意識をもつ。
- ・ふれあいサロンなどの参加者で避難行動要支援者の情報交換を行う。



行政に期待する支援

- ・避難行動要支援者情報の提供

取り組み 3 耕作放棄地の活用(農地を守る)

住民が取り組むこと

- ・耕作放棄地で地元の特産となるものを生産する耕作グループを立ち上げる。
- ・イベントや災害時等に、農作物等を無償提供できるようなしくみをつくる。
- ・農業に興味をもってもらうため、耕作体験やイベントなどを企画する。
- ・農作物の鳥獣被害等の軽減を図る。



行政に期待する支援

- ・活動に係る経費への助成
- ・森林の間伐やバッファゾーン⁵⁷整備の推進

取り組み 4 世代間交流(コミュニティの形成)の促進

住民が取り組むこと

- ・若い世代が参加できるよう、サロンの内容を検討する。(夏休みの実施等)
- ・ちびっこ広場の設置を検討する。
- ・一斉清掃時に道路の危険箇所を把握し、草刈り等を行う。



行政に期待する支援

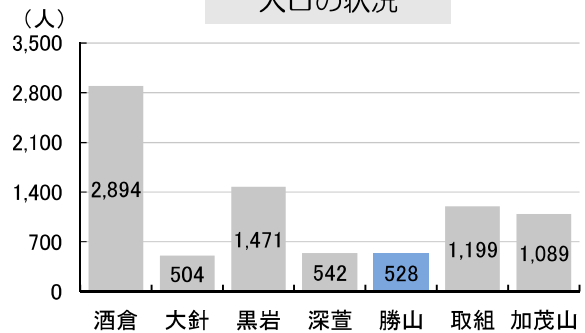
- ・町道の草刈りに対する燃料費等の助成

⁵⁷ 人と野生生物を隔てるため、山林と農地の間に設けられた緩衝地帯。

勝山地区



人口の状況



資料：住民基本台帳（2015年10月末）

地区の概況

- ★猿啄城展望台、迫間川で見られるホタルなど、まちの観光資源が集積しています。
- ★ホタル祭りや岩屋観音祭り、太鼓演奏によるイベントなど文化継承が盛んに行われています。
- ★国道21号バイパスが開通し、交通量や人の出入りの増加が見込まれます。

課題の把握

前回の評価

前回計画の施策	できたこと	課題
① 地域における安全・安心を守る活動の活性化	・防災訓練の実施 ・自治会内の団体間や高齢者等への声かけ	・自警団活動の活性化 ・自主防災組織の周知 ・防災訓練への参加が一部のみ ・防災訓練の頻度の検討
② 地域資源を活かした観光の活性化	・草刈りや清掃活動の積極的な実施 ・イベントのポスターの掲示 ・イベントに対する協力体制	・イベントの活動者、参加者の固定化 ・イベント内容の検討 ・観光に携わる人材育成
③ 日常的な地域のつながりづくり	・近所での日頃からのあいさつ ・子どものイベント参加 ・公民館解放の活用 ・多数のボランティアによる高齢者支援 ・シニアクラブによる清掃	・子どもと大人が交流できる機会の設置 ・公民館等の活用の活発化 ・シニアクラブ以外の住民による清掃活動の実施

新たな課題

・高齢者等の移動や買い物への支援

耕作放棄地への対策

今後特に注力すべき課題

- ① 地域の防災力の強化
- ② 多世代住民のつながりづくり
- ③ 地域資源を活かした観光の活性化

勝山地区の今後の方向性

取り組み 1

地域の防災力の強化

住民が取り組むこと

- ・ 自警団活動を活性化する。（大人も子どもも参加できる活動を含む）
- ・ 災害時の対策意識の向上のため、シミュレーション形式の防災訓練を実施する。
- ・ 避難行動要支援者マップの見直しを行う。
- ・ 子どもや高齢者の見守りを推進する。



行政に期待する支援

- ・ 防災備品等資材の支援

取り組み 2

多世代住民のつながりづくり

住民が取り組むこと

- ・ 大人と子どもが一緒にふれあえる機会をつくる。（子ども会とシニアクラブで夏休みにラジオ体操を実施するなど）
- ・ 地域で高齢者への生活支援活動を行うためのしくみを整える。（買い物、通院など）
- ・ 公民館開放、ふれあいサロン等を充実し、世代間交流などのつながりの場をつくる。
- ・ 耕作放棄地等の利用方法を検討する。



行政に期待する支援

- ・ 地区行事への参加

取り組み 3

地域資源を活かした観光の活性化

住民が取り組むこと

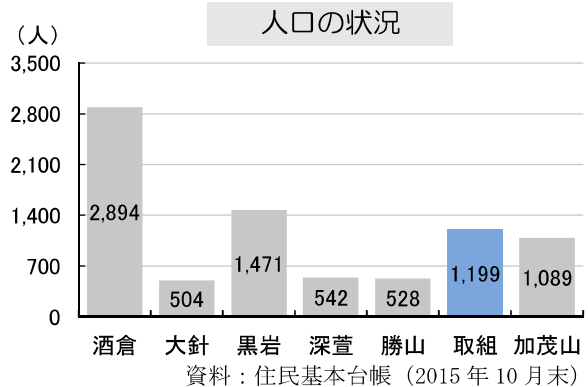
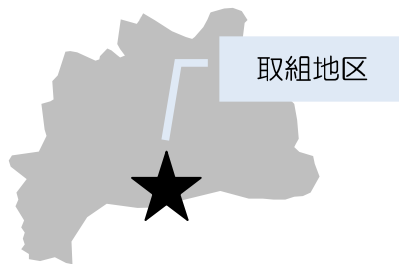
- ・ 地域イベントを町内外へ PR する方法を検討する。
- ・ 住民みんなで地元の名所・資源を知る。（イベントの開催など）
- ・ 地元資源の維持管理を協力して行う。（清掃活動、整備など）



行政に期待する支援

- ・ 地域資源の整備支援
- ・ 行政としての観光資源の PR 方法の検討

取組地区



地区の概況

- ★町役場や郵便局、JR坂祝駅などの機関が集まっており、本町の市街地となっています。
- ★住宅地や商業施設が広がっています。
- ★ロマンチック街道・行幸公園といった木曽川流域は多くの人が集まる場となっています。

課題の把握

前回の評価

前回計画の施策	できたこと	課題
①生活マナーの向上による環境美化	・自治会回覧や見回り等により、ごみ出しのルールを守る人が増加 ・堤防沿いの清掃活動など実施	・無記名でのごみ出し ・ペットの糞尿の処理等の飼い主への呼びかけ ・空き家の維持・管理 ・清掃活動の組織づくり
②地域住民の防災・災害時対策への意識の向上	・防災訓練等への参加 ・防災意識の向上	・自警会や自主防災組織の活動の活発化 ・消火器の扱い方や消火施設・設備の認識の向上
③交通安全対策の推進	・見守りボランティア等関係者による子どもの見守り	・一部の人のみが見守り活動を実施 ・交通マナー違反者への取締り、指導

新たな課題

- ・世代間交流、コミュニケーションの場づくり
- ・避難行動要支援者の把握、地震防災マップの見直し

今後特に注力すべき課題

- ①人が集える環境づくり
- ②防災・防犯、災害時対策への意識の向上
- ③交通安全対策の推進
- ④生活マナーの向上による環境美化

取組地区の今後の方向性

取組み 1 人が集える環境づくり

住民が取り組むこと

- ・ 公民館開放、ふれあいサロン等を充実し、世代間交流などのつながりの場をつくる。
- ・ 自治会未加入者への加入促進方法を検討する。



行政に期待する支援

- ・ 常時最新情報の提供
- ・ 新規転入者への自治会加入の啓発

取組み 2 防災・防犯、災害時対策への意識の向上

住民が取り組むこと

- ・ 通学路等の危険箇所の把握・整備（草刈りなど）、通学路の見直し・検討を行う。
- ・ 各家庭での消火器の使用期限の確認や火災報知器の設置への働きかけを行う。
- ・ 自治会や消防団などで消火器の使用手法や管理についての周知や、定期的な消火施設等の点検を行う。
- ・ 高齢者（ひとり暮らし高齢者等）、子ども等の見守り活動を推進する。
- ・ 避難行動要支援者の災害時の避難方法を検討する。（避難行動要支援者マップ見直し）



行政に期待する支援

- ・ 自治会、消防団、行政の三者一体の防災訓練の実施
- ・ 消火器等の購入、交換に関する情報の提供
- ・ 通学路への防犯カメラの設置
- ・ 空き家の有効活用を検討

取組み 3 交通安全対策の推進

住民が取り組むこと

- ・ 駅前通りをスピード超過で運転する人への注意喚起・啓発を行う。
- ・ 歩行者の多い時間帯の交差点での見守りや街頭指導を行う。
- ・ 交通安全対策として周辺企業等への協力を呼びかける。



行政に期待する支援

- ・ 狭小道路等の拡幅（緊急車両の通行）
- ・ 坂祝駅北口の整備

取組み 4 生活マナーの向上による環境美化

住民が取り組むこと

- ・ 河川（ロマンチック街道周辺）や公園などの清掃活動に積極的に参加する。
- ・ ペットの飼い主への飼い方マナーを徹底させる。
- ・ ごみ出し時の記名など、ごみ出しルールを徹底させる。



行政に期待する支援

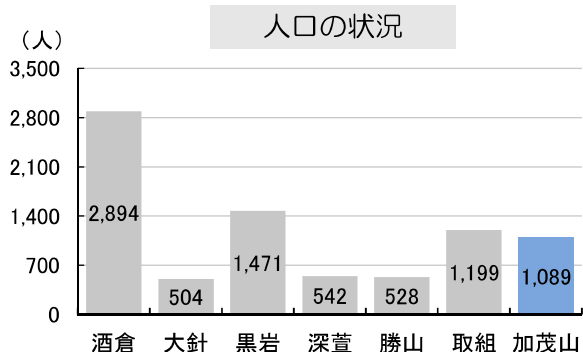
- ・ 清掃に関する町内協力企業との役割分担（開催時期の調整など）

加茂山地区



地区の概況

- ★加茂山団地に良好な住環境が形成されています。
- ★同じ年代の世帯が集まっているため、高齢化が一気に進むことが見込まれます。



資料：住民基本台帳（2015年10月末）

課題の把握

前回の評価

前回計画の施策	できたこと	課題
①環境美化活動の活性化	・睦寿会やボランティア団体による定期的な遊具点検や清掃活動の実施 ・かもやま咲宝友隊、睦寿会などによる桜並木坂の清掃	・竹の有効利用、公園の活用・管理方法等の検討の未実施 ・一部の住民のみで活動を実施 ・清掃活動の頻度ややり方の見直し
②交通安全対策の推進	・路上駐車防止のための規約作成 ・自治会回覧での交通マナー遵守に対する啓発	・路上駐車対策 ・迷惑駐車委員会の活動不足 ・スピード超過、騒音等の交通ルール、マナーの徹底 ・自治会員以外の人に対するスピード超過運転者への対策
③生活マナーの向上による快適な住環境づくり	・ペットの飼育マナーの看板設置、自治会回覧での注意喚起	・ペットの飼育マナーの徹底 ・ペットの放し飼いによる糞尿被害

新たな課題

- ・高齢者への生活支援
- ・他自治会との交流促進
- ・自主防災訓練や支え合い団体の強化
- ・防犯対策の実施

今後特に注力すべき課題

- ①環境美化活動の活性化
- ②交通安全対策の推進
- ③災害時に備えた支え合いの強化

加茂山地区の今後の方向性

取り組み 1 環境美化活動の活性化

住民が取り組むこと

- ・公園の有効活用や管理方法を検討する。（活動の周知・実行）
- ・高齢化への対応として、若い世代のボランティア人材を育成する。
- ・清掃活動へ積極的に参加する。（街路樹などの落ち葉清掃、樹木の剪定など）
- ・ポイ捨て禁止を啓発するため、看板等を設置する。



行政に期待する支援

- ・ポイ捨て禁止看板の支給

取り組み 2 交通安全対策の推進

住民が取り組むこと

- ・路上駐車防止のための啓発活動・ルールづくりを行う。
- ・スピード超過運転者への注意喚起を行う。
- ・【1丁目】迷惑駐車委員会の路上駐車取締りを強化する。



行政に期待する支援

- ・路上駐車防止に向けた取締り強化
- ・道路標示、啓発看板等への対応
- ・道路等の危険箇所の整備

取り組み 3 災害時に備えた支え合いの強化

住民が取り組むこと

- ・防災訓練の充実を図る。（防災器具の整備、高齢者を対象とした訓練の実施など）
- ・隣近所の情報を把握し、災害時の安否確認などの体制を整える。
- ・防犯上の危険箇所について話し合い、対策を検討したうえでみんなで見守りを行う。
- ・ボランティアへの積極的な参加を促す。
- ・高齢者の生活の不安について話し合い、相談等を行う。
- ・清掃活動時に危険箇所を把握し、情報を共有する。
- ・自主防災組織の活動を推進する。
- ・消防団の活動に参加・協力をする。



行政に期待する支援

- ・常時最新情報の提供
- ・新規転入者への自治会加入の啓発
- ・防災補助の充実
- ・高齢者生活支援の充実

